5周年をむかえて

子ども大学かまくらの足跡をふり返る

～みんなに支えられて～

2016年４月

NPO法人 子ども大学かまくら

はじめに

2012 年 12 月 1 日、“NPO 法人子ども大学かまくら”の開校式と養老孟司学長による記念講演「勉強ってなあに？」が行われました。そして本年 5 月には、開学 5 周年記念イベントとして小惑星探査機はやぶさプロジェクトなどを指導された的川泰宣先生の記念講演と子ども大学かまくら学長の養老孟司先生による特別公開授業「養老孟司の世界」が行われます。

この間、当 NPO の事業は、毎年、100 名以上の鎌倉の小学生を募集し、年 5 回の定例授業を行うとともに、2 年前からは体験学習やゼミ学習の開設など学びの場の充実化をはかってきました。これにより、市内の小学校の理解を得て、生徒や保護者の間での評価や期待も定着しつつあるのかと思っております。これも鎌倉市、鎌倉市教育委員会のご支援の下、当 NPO の趣旨にご理解をいただいた大学教員や専門家等の講師陣や企業等のご協力、そして個人や団体の会員、市民ボランティアの方々による支えがあったからこそであり、各方面の方々に御礼を申し上げる次第です。

この小冊子では、こうしたこれまでの“NPO 法人子ども大学かまくら”の事業の足跡をふり返り、新たなステージへの一里塚としたいと思っております。

今後ともみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2016 年 4 月

NPO 法人子ども大学かまくら理事長　田上 寛

目次

授業一覧・分類・・・・・・・・・・・・・・・・　2

授業・講師紹介・・・・・・・・・・・・・・・・　4
（1）2012 年度の定例授業・・・・・・・・・・　4
（2）2013 年度の定例授業・・・・・・・・・・　9
（3）2014 年度の定例授業・・・・・・・・・・　14
（4）2015 年度の定例授業・・・・・・・・・・　19
（5）2014 年度～2015 年度の体験学習・・・　24
（6）2014 年度～2015 年度のゼミ学習・・・　27

受講生数と会員数の変遷・・・・・・・・・・・　30

協力・支援組織と他の子ども大学等・・・・・　31

授業風景および新聞等による紹介記事・・・・　32

表紙デザインは平成 27 年度ゼミ学習を担当いただいた鎌田豊成氏による

NPO法人　子ども大学かまくら　事業実績一覧（2012年度～2015年度）

（1）2012年度～2015年度の定例授業のリスト

年度-回	講師	タイトル	はてな学	生き方学	ふるさと学	思考力	応用力	判断力	学術（文系）	学術（理系）	実践（自然）	実践（人間）	実践（社会）	実践（産技）	実践（政経）
12-0	養老孟司（子ども大学かまくら学長，東大名誉教授）	勉強ってなぁに		○			○		○			○			
12-1	三浦勝男（元鎌倉国宝館館長）	なぜ鎌倉に幕府ができたか			○	○			○						○
12-2	秋山哲雄（国士舘大学准教授）	なぜ鎌倉にお寺が多いのか			○	○			○				○		
12-3	佐藤美智子（高徳院）	鎌倉大仏のふしぎなヒミツ			○	○			○				○		
12-4	伊藤一美（鎌倉考古学研究所理事）	鶴岡八幡宮のふしぎなヒミツ			○	○			○				○		
13-1	養老孟司（子ども大学かまくら学長，東大名誉教授）	考える力ってなぁに		○		○				○		○			
13-2	溝口道郎（元カナダ大使）	外国とのおつきあい		○				○	○				○		
13-3	望月智行（川越胃腸病院長）	夢をもってオンリーワンをめざそう		○			○					○			
13-4	高井正俊（建長寺宗務総長）	建長寺ってどんなとこ？ お坊さんって何をするの？			○		○						○		
13-5	中村和男（長岡技大名誉教授） 山崎起助（元三菱電機研究員）	技術が世界を動かす	○				○			○				○	
14-1	養老孟司（子ども大学かまくら学長，東大名誉教授）	なぜ昆虫に興味を持ったのか？	○			○				○	○				
14-2	清水浩（慶応義塾大名誉教授）	最先端の電気自動車づくりにいどむ	○				○			○				○	
14-3	山形孝夫（宮城学院女子大名誉教授）	東日本大震災で考えたこと		○				○	○			○			
14-4	山崎直子（宇宙飛行士）	宇宙・人・夢をつなぐ	○			○				○	○				
14-5	奥寺康彦（横浜FC会長）	私のサッカー人生		○		○							○		
15-1	養老孟司（子ども大学かまくら学長，東大名誉教授）	人の体の不思議	○			○				○		○			
15-2	志村直愛（東北芸工大学教授）	こんなに楽しい『たてもの』の歴史 ～わがまち鎌倉の歴史ある景観～			○	○			○				○		
15-3	松木直也（食育アドバイザー・編集者）	おいしいって、なんだろう？	○				○		○			○			
15-4	吉屋敬先生（画家・エッセイスト）	名画に隠されたメッセージ		○		○			○			○			
15-5	對比地孝亘（東大講師）	恐竜のおはなし ～発掘から復元まで～	○				○			○	○				
		集計	7	7	6	11	7	2	10	7	3	7	7	2	1

（2）2014～2015年度の体験学習のリスト

14-1-E	海洋研究開発機構（JAMSTEC)横浜研究所	地球の活動をシミュレーションで とらえる	○			○				○	○				
15-1-E	三菱電機照明(株)（鎌倉市大船）	LEDを使った光の万華鏡を作ろう	○				○			○				○	
15-2-E	中外製薬(株)鎌倉研究所（鎌倉市梶原）	DNAを見てみよう	○				○			○				○	
		集計	3	0	0	1	2	0	0	3	1	0	0	2	0

（3）2014～2015年度のゼミ学習のリスト

14-1-S	横川和夫（元共同通信論説兼編集委員）	ジャーナリストになってみよう		○			○		○				○		
15-1-S	鎌田豊成（元長岡造形大学長）	デザイナーになってみよう		○		○			○					○	
15-2-S	横川和夫（元共同通信論説兼編集委員）	ジャーナリストになってみよう		○			○		○				○		
		集計	0	3	0	1	2	0	3	0	0	0	2	1	0

２０１２年（平成 24 年）度　開校記念講演

学長　養老 孟司(ようろう たけし)　東京大学名誉教授

「勉強ってなあに？」

◆２０１２年１２月１日（土）
　　鎌倉生涯学習センターホール

「できなかったことができるようになるのが勉強 」
「外に出ていろいろ観察することが勉強なんです」
「問題の解き方を人に教わっちゃいけません」
「自分で考える勉強には辛抱（しんぼう）が大切」

２０１２年（平成 24 年）度　第１回授業

三浦 勝男 先生　元鎌倉国宝館館長

「なぜ鎌倉に幕府が開かれたのか」

◆２０１２年１２月１日（土）
　　鎌倉生涯学習センターホール

「ぜひ鎌倉を歩いてみてください」
「鎌倉武士が鎌倉の都を生んだ」
「鎌倉の街づくりの基本は若宮大路」
「新しい宗教の浄土宗、禅宗が鎌倉に」
「北条時頼が禅宗の建長寺を建立」
「仏教用語が地名や生活習慣に」

２０１２年（平成 24 年）度　第２回授業

秋山 哲雄 先生　国士舘大学准教授

「なぜ鎌倉にお寺が多いのか」

◆２０１３年１月５日（土）

鎌倉生涯学習センターホール

「鎌倉時代はどのくらい昔か」　「京都と鎌倉の位置は」
「鎌倉はどこでしょうか」　「なぜ源頼朝は鎌倉を選んだのか」
「鎌倉は攻めにくく守りやすい天然の要害だから選ばれたのか」
「鎌倉は京都をまねしてつくられたのか」
「鎌倉にはいくつの寺社があるのか」
「お寺はなにをするところか」　「お墓はどこに作られるのか」
「武士は人を殺しても平気か」

２０１２年（平成 24 年）度　第３回授業

佐藤 美智子 先生　高徳院

「鎌倉大仏のふしぎなヒミツ」

◆２０１３年２月２日（土）

鎌倉大仏殿高徳院

「ナゾの多い鎌倉の大仏さま」「源頼朝の侍女と念仏上人が貢献」
「大仏さまは木製と銅製の二つあった」
「鎌倉の大仏さまは阿弥陀如来（あみだにょらい）」
「前かがみは中国の宋の時代の特徴」
「木枠を盛り土で固めて銅を流し込む」
「津波で流されてしまった御堂」
「江戸時代に荒廃状態から再興」「男でも女でもない仏さま」

２０１２年（平成 24 年）度　第４回授業

伊藤　一美　先生　鎌倉考古学研究所理事

「鶴岡八幡宮のふしぎなヒミツ」

◆２０１３年３月９日（土）

鎌倉商工会議所ホール

「鎌倉殺人事件を目撃していたイチョウの木」
「源氏を守る神様の家」　「昔はお寺だった八幡宮」
「今は神主（かんぬし）、巫女（みこ）さんがおつとめ」
「ハトは神様のおつかい」
「北条政子の安産を祈願してつくった段葛（だんかずら）」
「段葛は海岸に進むにつれて広くなる」
「源氏の勝利を願ってつくった『源平の池』」
「義経に思いをかけた静御前が躍った舞殿」
「１２６６年につくられた音楽の神様・弁天様」
「残っている源頼朝の直筆のサイン」
「歴史には正解はありません」

２０１３年（平成 25 年）度　第１回授業

学長　養老　孟司(ようろう　たけし)　東京大学名誉教授

「考える力ってなぁに？」

◆２０１３年５月１８日（土）

鎌倉生涯学習センターホール

［先生からのお話し］

「自分とは」　：　「自分」という一番わかっていると思っているモノについて、それがいかにあやふやなものかを、子ども達に考えさせるように、いくつかのかだいをあたえて問いかけて行った。

［子どもたちとの対話］

「先生にとって考えている時間は何の時間ですか？」
「楽しい夢をみて起きたときもう少しみたかったと思うが・・」
「考えるときに何かすることがありますか？」
「肩こりはなぜなるのですか？」

２０１３年（平成 25 年）度　第２回授業

溝口 道郎 先生　元カナダ大使

「外国とのおつきあい」

◆２０１３年７月６日（土）

円覚寺大方丈

「７ヶ国に住み出張先の国は１００近く」「暑いサウジでは空飛ぶスズメが焼き鳥に」「『スイスのパンはまずい』と言ったら怒られた」
「ベトナムではサルの脳みそが一番のごちそう」
「『今日は寿司ないのか』と怒られる」「ドロボー４回で両足両手首切断」
「日本の女性は世界一の評判」　「日本ほど水の豊富な国はない」
「イランの若者は寅さんが嫌い」「間違ったら大変な情報収集」
「情報収集で判断間違えた結果が敗戦に」「酒や食事で親しくなるのが早道」「ジョーク交換が大切な仕事」「冷戦時代のジョークのネタはスパイ問題」
「戦後６５年、戦争に巻き込まれなかった日本」「小学生の皆さんに４つの提言」「国民一人ひとりが外交官」

２０１３年（平成 25 年）度　第３回授業

望月 智行 先生　川越胃腸病院長

「夢をもってオンリーワンをめざそう」

◆２０１３年１０月５日（土）

円覚寺信徒会館

「小学６年生のイチローが書いた作文「ボクの夢」
「１%の可能性あれば夢は絶対叶う」
「人を幸せにするため、という夢が大切」
「だれもがなれるオンリーワン」
「人を幸せにするのが仕事だ」
「夢と笑顔とありがとう」
「それでは本当のナンバーワンはどんな人」

２０１３年（平成 25 年）度　第４回授業

高井 正俊 先生　建長寺宗務総長

「建長寺ってどんなとこ？
お坊さんって何をするの？」

◆２０１３年１２月７日（土）

建長寺宗務本院応真閣

「お坊さんの仕事は供養（くよう）やお葬式」

「１２月８日はお釈迦様が悟りを開いた日」

「建長寺や円覚寺に修行道場」

「日本で禅を最初に始めたのが建長寺」

「鎌倉ではさまざまな宗教が合同で震災祈願」

「一週間、雲水は寝ないで修業」

＜本堂で座禅を体験＞

「背中を伸ばして姿勢をよくする」「自分の鼻の頭を見なさい」

「鼻から息を吸ってお腹にためる」

「吸う息に集中して、体全体で呼吸する」、「般若信教を唱える」

２０１３年（平成 25 年）度　第５回授業

中村 和男 先生　長岡技術科学大学名誉教授

山崎 起助 先生　元三菱電機(株)研究員

「技術が世界を動かす」

◆２０１４年３月１日（土）

円覚寺信徒会館

「何のために、どのようにつくるか 」（中村）

「物質、情報そしてエネルギーが世界をつくる」（中村）

「技術が生んだプラス面とマイナス面」（中村）

「『なぜだろう』を大事にする」（山崎）

「なぜ暑さ寒さを感じるのか―暖房・冷房へ」山崎）

「新たな世界をつくるための技術開発」（中村）

２０１４年（平成 26 年）度　第１回授業

学長　養老 孟司(ようろう たけし)　東京大学名誉教授

「なぜ昆虫に興味を持ったのか？」

◆２０１４年６月２１日（土）
　　鎌倉芸術館小ホール

「足の長いゲジゲジは嫌い 」「ゾウムシは硬いので好き」
「冷凍庫に入れれば虫は死ぬ」
「マレー半島で５千６００匹のゾウムシを採取」
「昔の自然の姿が残る小網代」「昆虫の世界にも異変が」
「農薬でミツバチがいなくなる」
「虫は月を頼りに飛んでいる」

２０１４年（平成 26 年）度　第２回授業

清水 浩 先生　慶応義塾大学名誉教授

「最先端の電気自動車づくりにいどむ」

◆２０１４年７月２６日（土）
　　円覚寺信徒会館

「私たちにとって自動車とは」
「今地球で起こっていること」
「これまでの自動車と新発想の電気自動車」
　・各車輪の中に個別のモーターを組み込む
「手がけてきた電気自動車：基本構造と性能」
　・世界最速の 370km/h を出した 8 輪車の Eliica
　・スポーツカーの名車ポルシェとの加速競争

２０１４年（平成 26 年）度　第３回授業

山形 孝夫 先生　宮城学院女子大学名誉教授

「東日本大震災の地で考えたこと」

◆２０１４年９月２０日（土）
　　円覚寺信徒会館

「震災が起きた時」
「海がだめになる国の復興計画」
「津波にあった友人たち」
「大川小学校の悲劇」
「『死者の国』に行く」
「死んだ母の声を沙漠で聞く」

２０１４年（平成 26 年）度　第４回授業

山崎 直子 先生　宇宙飛行士

「宇宙・人・夢をつなぐ」

◆２０１４年１２月２０日（土）
　　建長寺応真閣

「３５ヶ国５５０人が宇宙へ」
「８分３０秒で宇宙に到着」
「顔がむくみ、味覚もにぶくなった」
「壁や天井に張り付いて寝た」
「９０分で地球を一周」
「みなさんの将来に新しい可能性」

２０１４年（平成 26 年）度　第５回授業

奥寺 康彦 先生　横浜 FC 会長

「私のサッカー人生」

◆２０１５年２月２１日（土）
建長寺応真閣

「友だちのさそいでサッカー部へ」
「みんなが認めてくれた」
「右足をけがして左足キックが強くなる」
「ブラジルのサッカーに学ぶ」
「ドイツで 9 年間、活躍」
「目標を持とう」「個性を持とう」

２０１５年（平成 27 年）度　第１回授業

学長　養老 孟司(ようろう たけし)　東京大学名誉教授

「人の体の不思議」

◆２０１５年５月２３日（土）
鎌倉芸術館小ホール

「部品はなぜ動くのか」
「からだの外にある器官」
「からだに菌が百兆個もある」「菌と『共生』している」
「なぜ、食べ物でむせるのか」
「カエルには耳たぶがある」
「『同じ』って何だろう」

２０１５年（平成 27 年）度　第２回授業

志村 直愛（なおよし）先生　東北芸術工科大学教授

「こんなに楽しい『たてもの』の歴史 ～わがまち鎌倉の歴史ある景観～」

◆２０１５年７月１１日（土）
建長寺応真閣

自己紹介　「鎌倉で生まれ日本各地を転々」
「『風の人』として各地で歴史を活かしたまちづくり」

こんなに楽しい建物の歴史　「人生の 90%は建物の中で」
「建築の仕事をする人は理系／文系？」「歴史学で『温故知新』」
「たてもの原点は・・・その土地の材料でつくられてきた」
「日本にしかない建物を保存するシステム」

鎌倉の建築・都市の魅力は？
「鎌倉は特異な地形を活かしてつくられた古都」
「歴史･自然への意識の高いまち」

最後に、鎌倉の若者の皆さんに実践してほしいこと

２０１５年（平成 27 年）度　第３回授業

松木 直也 先生　食育アドバイザー・編集者

「おいしいって、なんだろう？」

◆２０１５年９月５日（土）
建長寺応真閣

おいしいって、なーんだ。みんなで考えてみよう
「五感で味わう」「5 つの味がある」「３つのうま味」
「舌のみらいで味を感じる」

紙芝居「命と食」
「なぜ長寿村だったのか」
「14 年後、村は変わった」
「食事は生きる力をつける」

２０１５年（平成 27 年）度　第４回授業

吉屋 敬 先生　画家・エッセイスト

「名画に隠されたメッセージ」

◆２０１５年１２月６日（日）
　　鎌倉芸術館小ホール

「ゴッホを知っている人いる？」
「『人の役に立とう』と伝道師を目指す」
「27 歳で画家になり『馬鈴薯…』を描く」
「耳たぶを切り落とす」
「ピストルで自殺」

２０１５年（平成 27 年）度　第５回授業

對比地 孝亘(ついひじ たかのぶ)先生　東京大学講師

「恐竜のおはなし ～発掘から復元まで～」

◆２０１６年２月２７日（土）
　　鎌倉生涯学習センターホール

恐竜とは何か？

「恐竜は 2 億 3000 万前から 6550 年前に生きていた」
「怪獣は想像でつくられたもの」「恐竜は爬虫類の一分」

化石からの復元は骨の役割を知ることから

「第一歩は骨の化石からその骨の役割を推測する」
「どんな筋肉、皮がついていて、外見はどのようなものか」

化石から目、鼻、筋肉、脳を調べどんな動物かとらえる

２０１４年（平成 26 年）度　体験学習

見学先　海洋研究開発機構（ＪＡＭＳＴＥＣ）横浜研究所

「地球の活動をシミュレーションでとらえる」

◆２０１４年８月２０日（土）

「『海と地球のふしぎ』を体験学習」
「地球は『海の惑星（わくせい）』」
「世界最速だったスーパーコンピュータ」
「３・１１の大津波もシミュレーションで」
「カップ麺（めん）容器が水圧で縮む」
・クイズ正解者２人に圧縮のカップ麺容器

２０１５年（平成 27 年）度　体験学習Ａ

実施先　三菱電機照明(株) 本社（鎌倉市大船）

「LED を使った光の万華鏡を作ろう」

◆２０１５年７月２８日（火）

・「明かりを学び、美しい光を作り出す」体験
・「明かりについて」の導入説明
・LED を使った万華鏡の工作
・「さまざまな照明が造り出す光世界の変化」を体感
［全プログラムを終えての質疑］
・LED という言葉の源は？　・次世代の照明技術は？

２０１５年（平成 27 年）度　体験学習Ｂ

実施先　中外製薬(株)鎌倉研究所（鎌倉市梶原）

「DNA を見てみよう」

◆２０１５年８月２２日

・「くすりについて学び食材から DNA を取り出す」体験
・「くすりと中外製薬」について学ぶ
・実験で「DNA を取り出す」
［体験学習の中での質疑］
・発売中の薬の数は？　・ジュースでも DNA 実験は？

２０１４年（平成 26 年）度　ゼミ学習（3 回連続）

講師　横川和夫先生　　元共同通信論説兼編集委員

「ジャーナリストになってみよう」

◆２０１４年１０月１８日、１１月１５日、１月１７日

・基本的なことから「記事の書き方」「質問の仕方」などを説明
・１２月２０日に第４回授業の宇宙飛行士・山崎直子さんのお話しを聞いた後インタビューし、記事を書く
・作成されたゼミ学習新聞を３月の修了式に配布

２０１５年（平成 27 年）度　ゼミ学習Ａ（3 回連続）

講師　鎌田豊成先生　（元）長岡造形大学学長

「デザイナーになってみよう」

◆２０１５年１０月２４日、１１月７日、１１月２１日

「デザインって何？」「よいデザインとは？」
「デザイナーに向いている人」→グッドデザインを探す
「“スタルクによるレモン絞り器”を使ってみよう」
「自然とデザイン」
　・子ども達がとらえた「身の回りのグッドデザイン」
　＜オリジナルデザインのＴシャツ作りの実習＞

２０１５年（平成 27 年）度　ゼミ学習Ｂ（3 回連続）

講師　横川和夫先生　元共同通信論説兼編集委員

「ジャーナリストになってみよう（Ⅱ）」

◆２０１５年１０月３１日、１１月２８日、１月１６日

・基本的な「文章・記事の書き方」「質問の仕方」などを学んでもらい
・１２月６日の第４回授業の吉屋敬さんのお話しを聞いた後、インタビューし記事を書いてもらう
・作成されたゼミ学習新聞を３月の修了式に配布

2016年2月27日発行　（1）

子ども大学かまくら　2015・ゼミ新聞

「ジャーナリストになってみよう」

「名画に隠されたメッセージ」取材

講師の画家・吉屋敬先生にインタビュー

授業を聞いて

受講生数と会員数の変遷

学生は、毎年募集され、入学金と年間の授業料の納付により、1年間5回の定例授業を受講できるとともに、2014年度からは、希望者に夏期体験学習および秋冬期ゼミ学習が開講されている。

NPO法人子ども大学かまくらは個人会員と賛助団体の会費によって支えられている。

協力・支援組織と他の子ども大学等

［協力・支援組織］

行政関係組織

鎌倉市（後援）

鎌倉市教育委員会後援

助成金等による支援組織

Azbil みつばち倶楽部（2012～2015年度助成金）

NPO支援鎌倉ファンド（2012,2013,2015年度助成金）

国際ソロプチミスト鎌倉（2013年度助成金）

授業会場の提供寺院

建長寺

円覚寺

大仏殿高徳院

［これまでの賛助団体］

㈱イソダ、 FC小坂エルオンセ、 ㈲英和住宅設備工業

温古堂、 ㈱鎌倉三衣、 ㈲晃陽住宅設備

㈲ZINGY ZAP Enterprises、 寿司正

TESSコーポレーション、 ㈱トキオ・テック、 ㈲徳しば、

トップ保険サービス㈱、 トップリスクマネジメント㈲

野田の湯 ㈱荻野屋、 阪神瓦斯産業㈱、 ㈲三日月堂花仙

［他の子ども大学等］

他の地域の子ども大学

NPO法人 子ども大学かわごえ（交流・連携）

NPO法人 子ども大学よこはま（交流・連携）

授業風景および新聞等による紹介記事

2014 年度第 1 回授業
鎌倉芸術館小ホールにて

2014 年度第 3 回授業
建長寺応真閣にて

子ども大学」多彩な講師

「読売新聞」記事より（2013/06/07）

クローズアップ
市民活動

「広報かまくら」記事より（2015/10/15）

5 周年をむかえて
子ども大学かまくらの足跡をふり返る
～みんなに支えられて～

2016 年 4 月 30 日発行

発行／NPO 法人　子ども大学かまくら
発行人／田上　寛
表紙デザイン／鎌田豊成
印刷所／ラクスル株式会社

＜問い合わせ先＞
NPO 法人　子ども大学かまくら
理事長 : 田上　寛（たのうえひろし）　事務局 : 〒247-0062 鎌倉市山ノ内 1383
Tel : 0467-23-0056　　HP URL : http:www.kodomodaigaku-kamakura.jp/